

平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回緑区役所部会議事録

1 日 時 : 平成28年6月21日(火) 午前10時00分～午前11時30分

2 場 所 : 千葉市緑区役所 5階 会議室

3 出席者 :

(1) 委員

潮来 克士委員(部会長)、小川 真実委員(副部会長)、鶴見 泰委員
豊田 洋祐委員、森山 源次委員

(2) 事務局

喜多見区長、鈴木地域づくり支援室長、安藤主査、木村主任主事

4 議 題 :

- (1) 平成27年度における指定管理者の指定結果について
- (2) 平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
ア 千葉市土気あすみが丘プラザについて
- (3) その他

5 議事概要 :

- (1) 平成27年度における指定管理者の指定結果について
千葉市市民局指定管理者選定評価委員会緑区役所部会の平成27年度における指定管理者の指定結果について、事務局から説明した。
- (2) 平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
ア 千葉市土気あすみが丘プラザについて
平成27年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。
- (3) その他
議事録の公開について、事務局から説明した。

6 会議経過 :

○事務局職員 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより、平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、緑区地域振興課主査の安藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

なお、現在、傍聴人の方はいらしておりませんので、このまま行わせていただきたいと思います。

それでは、委員の皆様を名簿に記載の順にご紹介をさせていただきます。

公認会計士でいらっしゃいます、潮来克士部会長でございます。

○潮来部会長 よろしくお願ひします。

○事務局職員 次に、千葉大学法政経学部准教授でいらっしゃいます、小川真実副部長でございます。

○小川委員 どうぞよろしくお願ひします。

○事務局職員 次に、弁護士でいらっしゃいます、鶴見泰委員でございます。

○鶴見委員 よろしくお願ひします。

○事務局職員 次に、元鎌取コミュニティセンター運営協力会会長でいらっしゃいます、豊田洋祐委員でございます。

○豊田委員 よろしくお願ひいたします。

○事務局職員 最後に、元あすみが丘プラザ運営協力会会長でいらっしゃいます、森山源次委員でございます。

○森山委員 森山です。よろしくお願ひします。

○事務局職員 以上、5名の皆様でございます。

続きまして、職員をご紹介させていただきます。

まず、喜多見区長でございます。

○喜多見区長 よろしくお願ひします。

○事務局職員 続きまして、緑区地域振興課職員をご紹介します。

鈴木地域づくり支援室長でございます。

○鈴木地域づくり支援室長 よろしくお願ひいたします。

○事務局職員 今年度から担当になります、木村主任主事でございます。

○事務局職員 木村です。よろしくお願ひします。

○事務局職員 以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、開会に当たりまして、緑区長の喜多見からご挨拶を申し上げます。よろしくお願ひします。

○喜多見区長 皆さん、おはようございます。緑区長の喜多見でございます。

本日は、皆さん大変お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

また、皆様方には、日ごろより、市政はもとより、区政の運営、とりわけコミュニティセンター管理運営に関しましては、多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことを、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

本日は、土気あすみが丘プラザにつきまして、平成27年度の管理運営について、評価をお願ひいたします。

土気あすみが丘プラザにつきましては、指定管理者と連携を図りながら、地域活動の拠点として、さらには、地域住民のための学習、文化等に関する各種事業を実施するなど、区民の皆様にご喜ばれる施設となるよう、質的な向上に努めているところでございます。

委員の皆様方には、専門的な知識、経験を基に、施設管理のサービス水準の向上、業務の効率化、また、改善を要する点等につきまして、忌憚のないご意見をいただきますよう

よろしくお願ひ申し上げます。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○事務局職員 喜多見区長につきましては、所用がございますので、ここで退席させていただきますのでよろしくお願ひします。

それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきたいと思ひます。

まず、机の上に、諮問書の写しと次第、席次表でございます。

次に、ファイルをお開きください。資料1が、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑区役所部会進行表でございます。資料2が、緑区役所部会委員名簿でございます。資料3が、答申書でございます。資料4が、緑区役所部会で審議する公の施設一覧でございます。資料5-1から5-4は、千葉市土気あすみが丘プラザの平成27年度評価に関する資料でございます。ちなみに、5-1が指定管理者評価シート、5-2が実施計画書、5-3が事業報告書、5-4が指定管理者計算書類等でございます。

続きまして、参考資料1が、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、参考資料2が、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について（平成22年7月16日 千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）というものでございます。参考資料3が、部会の設置について（平成24年7月24日 千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）というものでございます。参考資料4が千葉市情報公開条例・施行規則の抜粋でございます。

以上をお配りしております。お揃いでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日の出席委員は、全委員の出席となっておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用する第10条第2項に基づき、会議は成立しております。よろしくお願ひします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

これからの議事につきましては、進行を潮来部会長にお願ひしたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○潮来部会長 それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

議題1の平成27年度における指定管理者の指定結果について、事務局より説明をお願ひいたします。

○鈴木地域づくり支援室長 鈴木でございます。それでは、説明させていただきます。

まず、お手元の資料3をご覧ください。コピーの色が悪く、見づらくて大変申し訳ございません。資料3、1枚目をめくっていただいて、裏面をご覧くださいませでしょうか。

こちらが、指定管理予定候補者の選定についての報告で、潮来部会長から横山会長あての報告でございます。

昨年10月26日に開催した第4回緑区役所部会において議決された選定案件、千葉市土気あすみが丘プラザの指定管理予定候補者の選定結果を、選定評価委員会の横山会長へ報告したものでございます。

続いて資料4をご覧くださいませでしょうか。

こちら、皆さんご存じのとおり、緑区役所部会が所掌する施設の一覧でございます。表の右側の列が、今年の3月末までの指定管理者、そして真ん中の列が昨年度ご選定いただきました、本年4月から5年間施設を管理していただく指定管理者でございます。

続きまして、資料3の一枚目に戻っていただけますでしょうか。

部会からの報告を受けて、横山会長から平成27年10月29日付で本部会の報告とおりの答申を市長にしたものでございます。

この答申を受けまして、市としましては、全ての施設について答申どおり指定管理予定候補者を決定し、応募者へ選定結果の通知、仮協定締結を経て、4月からの事業の円滑な移行に向けて協議等を開始したところでございます。

その後、昨年11月27日から開会しました、平成27年第4回千葉市議会定例会に指定議案を提出しまして、常任委員会での審議などを経まして全ての議案について、12月16日に原案どおり可決されたところでございます。

議会の議決結果を受けまして、各指定管理者を指定するとともに、基本協定を締結し、平成28年4月1日より各施設において業務を開始しております。

平成27年度における指定管理者の指定結果につきましては、以上でございます。

○潮来部会長 ただいまの事務局からの説明について何かご質問はございますか。

(なし)

○潮来部会長 よろしいでしょうか。

それでは、議題2、平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、事務局より説明をお願いします。

○鈴木地域づくり支援室長 引き続きまして、鈴木から説明させていただきます。

年度評価について、今回の審議対象となる施設でございますが、昨年選定いただく前の、従前の指定管理者に対するものになります。全庁的な統一の考え方としまして、選定評価委員会でご審議いただくものは、選定の結果、指定管理者が同一の団体となった施設のみとなります。本部会におきましては、二つの施設、土気あすみが丘プラザと鎌取コミュニティセンターがございまして、同一の指定管理者となった施設が土気あすみが丘プラザのみとなりますので、土気あすみが丘プラザについてご審議いただくこととなります。

これは、前指定期間と同一の指定管理者である場合には、評価の結果や委員の皆様からのご意見等を受けて、新たな指定期間となる今年度以降の施設の管理運営に反映させることが可能であるためでございます。

それでは、千葉市土気あすみが丘プラザの指定管理者の行った平成27年度評価についてのご説明をいたします。

お手元の資料5-1の表をお開きください。こちら、平成27年度指定管理者評価シートになっております。

まず基本情報でございますが、施設名、土気あすみが丘プラザ、指定管理者はANAスカイビルサービス株式会社でございます。指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

続きまして、2、管理運営の実績についてでございます。

まず、管理運営の実績、左側に記載しております、(1)主な実施事業について説明いたします。①の指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。

特に、3つ目の「プラザまつり」につきましては、平成27年11月28・29日の二日にわたって行われ、多くの近隣住民の方にお越しいただき、来場者が約7,500人と前年度を上回る盛況ぶりでした。

続きまして、②の自主事業について簡単にご説明させていただきます。

あすみが丘プラザで行っております自主事業です。一番上にある、事業名、終活セミナーから、一番下のダンスパーティーまで、年間27事業でございます。この中には、複数日にわたって開催しております事業もございますので、例えば、中段にある親子アニメ劇場については、8月7日と8月10日に開催しております、事業としては1事業となります。全体で27事業なのですが、延べ回数でいうと36回ということになります。

各事業は、実施時期の古い順に記載しておりますが、事業名の四つ目、6月27日に行われましたプラザ音楽祭では、4サークル100名にご出演いただき、観客や参加者を楽しんでいただくとともに、地域リーダーの育成にも寄与することができたということがございます。

下段の3月12日に実施しております歴史講座につきましては、地域の歴史や文化を学ぶとともに、地域への愛着や地域交流の促進を図ることができました。

続きまして、2ページをご覧ください。

(2) 利用状況でございますが、平成27年度の利用者数は、目標値が8万9,900人に対し、実績は11万3,243人で、目標達成率は126.0%で、前年比では101.9%でした。稼働率につきましては41.7%でございまして、目標値である39.0%に対し、2.7%の増となっております。また、対前年では、0.1%のプラスとなっております。

続きまして、(3) 収支状況につきましては、収入合計が6,370万8千円で、支出決算額は6,356万2千円になっておりますので、収支決算額は、差し引き14万6千円のプラスとなっております。よって、本年度は大幅な利益還元はございませんでした。

しかし、資料5-3の平成27年度事業報告書の収支決算書をご覧いただきたいのですが、管理に係る備品経費で予算額50万円に対して、71万円の支出となっております。

本年2月から3月にかけて、備品の確認作業等を行い、施設利用者の意見を参考に机、卓球台、ホワイトボードなどの備品を新たに購入し、施設の利用向上の取組みを図っております。予算額50万円との差額21万円は、大幅な利益の還元に準ずるものと考えております。

(4) の指定管理者が行った処分の件数でございますが、使用許可7,795件で、使用不許可、使用の制限についてはございませんでした。

その下の市への不服申し立ての部分については、不服申し立てはございませんでした。

その下の(6) 情報公開の状況に移らせていただきます。開示請求4件となっております。

情報公開の内容は、平成22年度の公募時に指定管理者が提出した提案書及び収支計画書の写しの請求でございました。

続きまして、3ページをご覧ください。3、利用者ニーズ・満足度等の把握に移らせていただきます。

まず、(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてでございますが、アン

ケートは年2回、全利用者を対象に実施しております。

平成27年8月と平成28年1月に実施いたしまして、②調査の結果としましては、おおむね良い評価をいただいております。

ただし、施設利用料金及び予約方法については、第1回の満足度調査の表の「施設利用料金について」は、「よい」が17.4%、「普通」58.7%の方が圧倒的に多くなっております。

「申し込みや予約方法について」の項目ですが、「よい」が22.5%に対して、「普通」が67.0%。あと、「悪い」というのも10.4%ありまして、施設利用料金及び予約方法については、他の項目に比べて不満に感じている方が多くなっていると考えております。

ただし、予約方法の不満につきましては、指定管理者の工夫や新システムの定着などにより、昨年の同アンケート調査結果と比較いたしますと、1回目の「悪い」12.1%が、今年度は、10.4%という形で改善しております。2回目の「不満」と「非常に不満」を合計して、7.3%でしたが、今年は6.1%とわずかですけれども、悪い評価が減少しております。

しかしながら、施設予約システムにつきましては、「不満」と思っている方がおりますので、引き続き改善すべき点がないかなど注視してまいりたいと考えております。

続きまして、③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応についてですが、細かく幾つか項目が書いてありますけれども、「集会室のピアノが故障しているので、修理するか新しいピアノを購入してほしい」という意見につきましては、鎌取コミュニティセンターより、利用しなくなったピアノがありましたので、それを譲り受けまして、利用者の利便性の向上を図ったところでございます。

また、その下、サークルあての文書については、あて先を明確に書いてくださいということについても、代表者あてに文書を発行して改善を図りました。

(2)市に寄せられた意見、苦情でございます。意見、苦情につきましては、ございませんでした。

続きまして、4、指定管理者による自己評価についてです。こちらに書いてございますが、施設の維持管理は、こまめな節電対策の遂行と節減を行うとともに、利用者の快適性向上に必要な修繕を実施し、施設の適切な管理に努めたこと、多種多様な自主事業とロビーの催し、ホームページを含めた広報活動等により、稼働率・利用者数・利用料金収入等を増加できたこと、自主事業は、当初計画27事業、延べ36回計画し、先ほどご紹介しましたが、26事業実施するとともに、計画外1事業を含んで延べ36回実施できまして、利用者から高い評価を得ることができ、稼働率の向上に貢献できたと考えてございます。

さらに、魅力ある公共施設となるべく、多種多様なイベントの企画や高品質なサービスの提供を実施しているとの自己評価をしております。

続きまして、5の市による評価ですが、評価につきましては、3段階評価の最高評価であります「S」としております。

理由としましては、施設の管理業務は、おおむね仕様・事業計画どおりに実施されており、利用者数は諸室利用者、体育館個人利用者及び団体利用者とも目標値を達成しており、稼働率についても、昨年度の実績及び目標値を上回る結果となっております。

また、「サークル代表者会議」、「利用者・地域住民の意見を聞く会」を開催するなど、利用者の意見を取り入れた事業運営を目指し、「プラザまつり」についても、関係団体との綿密な連絡調整を実施し、円滑に事業運営を行ったこと、さらに、自主事業については、計画外事業も積極的に実施し、稼働率の向上にも貢献している。

加えまして、年度末に施設備品の点検を行い、新たに施設利用者のための備品を購入し、利用者の利便性向上に積極的に努めた姿勢は評価できると考えております。

以上の指定管理者の昨年1年間の管理運営実績に加え、昨年度開催されました本部会におけます委員の皆様からの当該事業者を高く評価するご意見等も踏まえ、数値のみでなく多面的に評価した結果によるものです。

続きまして、4ページをご覧ください。「履行状況の確認」につきましては、ご覧のとおりでございます。3点を付けた所を中心にご説明させていただきます。

4ページ中段でございます、「市内産業の振興」の項目のうち、「常設美術館・ミニコンサートホールの設置」については、コンサートが年17回、ロビー展示会が年9回開催されているため「3」としております。

「千産千消の推進」につきましては、フリーマーケット及びプラザまつりで地元農家の出店を調整するなどしているため「3」としております。

4ページ中段でございます「市からの受託業務」につきましては、プラザまつり開催に当たりまして、関係団体等5団体80サークルと綿密な連絡調整を実施し、円滑に事業運営を行った結果、前年度を上回る来場者があったことから「3」としております。

4ページ中段少し下でございます「複合施設の場合の管理協力関係、複合施設を含む近隣施設との連携関係の考え方」の項目のうち、「複合施設との連携」につきましては、緑図書館あすみが丘分館と読み聞かせや夏休みイベントの共同企画を行っていることから、「3」としております。

また、「近隣施設との連携」につきましては、近隣の小学校及び土気公民館との事業の広報や備品、駐車場の借用などの連携を図っているため「3」としております。

4ページ下段でございます「利用者サービスの向上」の項目のうち、「ロビーでの新聞の提供」につきましては、利用者からの要望に応える形で1紙増としているため「3」としております。

続きまして、5ページをご覧ください。上段の「利用者支援」の項目のうち「公民館機能」につきましては、各種料理教室や相続・健康・歴史に関する各種講座の開催など、市民に身近な多様な講座を実施しているため、「3」としております。

「ユニバーサルサービスの徹底」につきましては、高齢者などへの配慮に加えて、障害者スポーツ、これは車椅子ラグビーでございますが、障害者スポーツの発展に寄与する取組みを実施しているため「3」としております。

「受付の改善」につきましては、受付業務のために使用している業務ソフトを独自に改善しまして、利用者の利便性を向上させる取組みを実施していることから「3」としております。

5ページ中段でございます「利用促進」の項目のうち、「地域産業への利用促進PR」につきましては、商工会への参加や地域産業に対して施設利用の広報活動などを実施しているため「3」としております。

続きまして、「施設の利用条件」の項目のうち、「障害者・障害者団体等の減免」につきましては、先ほどご説明いたしました「ユニバーサルサービスの徹底」と同様に、障害者スポーツの発展に寄与する取組みを実施しているため「3」としております。

6ページをご覧ください。上段にございます「備品の管理・台帳作成」でございますが、施設利用者からの意見等を参考に、糸鋸や卓球台など合計8点の備品を購入するなど利便性向上を図っているため「3」としております。

その他の項目においては、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたので、「2」という評価をつけました。

結果としまして、6ページにございますように、3点とした項目は13項目、2点とした項目は88項目、1点とした項目はございませんでした。

したがって、全ての項目の評価の平均点としては2.128点となりますが、小数点第2位を四捨五入するため、2.1点となっております。

土気あすみが丘プラザに関する指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。

○潮来部会長　　ありがとうございました。

ANAスカイビルサービス㈱は継続するから評価するけれども、㈱千葉マリンスタジアムの評価はしないのですね。

○事務局職員　　鎌取コミュニティセンターは、㈱千葉マリンスタジアムから㈱京葉美装に変わっております。

○潮来部会長　　入れ替わったから、そちらはやっても意味がないというか、意見を出す訳ではないからやらないということですか。

○事務局職員　　市としてそういう取扱いとなっております。

○潮来部会長　　やればやったで、それは次のところでの評価や運営で役に立つことがあるのかと思いますが、それは市の方針ということですね。

○事務局職員　　鎌取コミュニティセンターの評価については、当該施設の自己評価に市の意見を加えて公表させていただきます。ただ、本部会に諮ることはないことをご理解いただきたいと思います。

○小川委員　　確認なのですが、計画書に対して報告書は出ていて、お金の流れは把握しているのですね。

○事務局職員　　そうです。

○小川委員　　㈱千葉マリンスタジアムが、最後になって無茶苦茶なことをやっているかどうかのチェックは市の方でしているのですね。

○事務局職員　　それは、適切にしております。

○潮来部会長　　それでは続けます。

ただいま事務局から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっております。

これから計算書類等を基に、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については再び公開といたします。

現在傍聴人の方はいらっしゃいませんのでこのまま続けます。

それでは、公認会計士である私から、指定管理者の財務状況等に関して計算書類を基に意見を述べさせていただきたいと思います。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○潮来部会長 委員の皆様からいただきました財務状況についての意見としては、特に大きなコメントはなしということですね。倒産、撤退のリスクについては、特にないと。

○小川委員 財務状況については部会長に一任したいと思います。

○潮来部会長 分かりました。指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、平成24年度(第34期)から平成26年度(第36期)を通して増収増益を続けており、純資産も十分に確保していることから、倒産・撤退のリスクはないと判断されるといたします。

(異議なし)

○潮来部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については公開とします。傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けさせていただきます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かご意見はございますか。

○鶴見委員 利用者数ですが、目標の設定がどうかという問題があると思います。前年度から微増ということで、これは維持できているということで、この点は非常に評価できると思います。

また稼働率についても、微増ですけれども上がっておりますので、この辺についても評価できるのではないかと考えています。

○潮来部会長 はい。分かりました。ありがとうございます。

○森山委員 5年間見てきて、最初の3年ぐらいは慣れるまでかなり時間がかかりましたけれども、後半の2年はかなり積極的に自主事業等を実施してくれました。館長と話しても、施設利用者の意見等をすぐに取り入れてくれております。例として、プラザだよりを毎月、自治会等に回覧しています。

また、サークルの人数が減ってしまったので、多目的室を使用することが難しい団体があると、会議室を改修し、人数が少ない団体でも使えるようにしてくれたことは非常にありがたいです。

○潮来部会長 そうですね。

○森山委員 今年、サークル代表者との意見交換会に私も出まして、意見を聞いて、私も意見を言いました。あすみが丘プラザ前の歩道が広いので、そこにあすみが丘プラザの利用者のための車寄せを作ったらどうかと提案しました。

○事務局職員 車寄せの設置については、土木事務所が管理しており、事前に土木事務所に確認したところ、バス停は公共性が高いため車寄せをつくることは可能であるが、あすみが丘プラザのために車寄せをつくることは道路管理者として許可はできないのでご理解くださいということでした。車寄せができれば送迎の方もいらっしゃるので、施設としては非常に利便性が向上すると思うのですが、土木事務所の立場では設置が難しいということでした。

○潮来部会長 それは、意見書の中にコメントとして、あるいはこういう提案があったという形で入れられるのですか。

○事務局職員 入れることはできません。

○潮来部会長 全然関係ないこと、本部会の管轄の話ではないから。

○事務局職員 入れられません。できる可能性があるのであれば入れてもいいと思うのですが、今回正式に土木事務所から車寄せの設置は難しいと断られておりますので。

○鈴木地域づくり支援室長 森山委員からご意見をいただいたときに、非常に良い提案だと思いましたが、道路ということで、道路交通法という法律の壁があって、今現在は、大変申し訳ありませんが、車寄せの設置はできませんとしかお答えできない状況です。

○森山委員 分かりました。

○潮来部会長 この件に関してはこの位でよろしいでしょうか。

○森山委員 はい。分かりました。

○潮来部会長 他に何かご意見ございますか。

○小川委員 確認したいのですが、自主事業で以前から菊まつりは実施していましたか。

○事務局職員 以前はないです。菊まつりというのは、27年度からの新規事業でして、今まで地域の方が育てたものを展示するというようなことで、近隣の方が育てているものがあって、それを発表する場がなかったのが、あすみが丘プラザはたくさんの方が来るので、そういったところに展示したらどうかということで、施設利用者のご意見を伺った上で実施したと伺っております。

○森山委員 菊まつりは、27年度以前から試行的にやっていました。皆さんから好評であったために27年度から正式な事業に組み入れられました。

○小川委員 こういうふうにはマンネリにならず、特色のあることが、地域住民から申し出があって、それで膨らんでいくのは良い取組みだなと思って、それを評価する項目として追加したいと申し上げた次第でございます。

○事務局職員 当該施設は複合施設のため、図書館と連携しています。毎月、幼児室を使って事業を実施しています。図書館は図書館でできるのだと思うのですが、あすみが丘プラザに来ていただいて、施設に人を呼び込むということも実施している。あすみが丘プラザは図書館との連携も十分できていると思います。

また、チャリティ寄席があるのですが、これは千葉大生の協力を得て実施しております。

○小川委員 本校の学生ですか。

○事務局職員 好評をいただいて、何年かずっと続けています。チャリティなので、千円を取っておりますが、全額東日本大震災のために募金をしている事業です。

○森山委員　もう5年になるのです。震災があったときからずっと続けている事業です。

○潮来部会長　そうですか。

○事務局職員　そうですね。いいものは続いている。あと、健康義塾という講座もずっと続いております。

○潮来部会長　回数ありますよね。

○事務局職員　講座の実施回数が多く、内容が毎年同じかというところではなく、いろいろなテーマを変えて実施しているので、リピーターがいらっしゃると思います。

○潮来部会長　すごいですね。

○小川委員　それでは、今後とも続けていただいて。自主事業でそういう特色があることをやっていることは高く評価したいのですが、評価シートの2ページ目の利用状況のところ、先程、鶴見委員からご指摘がありましたが、利用者数の目標値の設定ですけれども、これまでの実績を考えたときに、ちょっと自信がないのかなど。何か甘く見積もっているのかなという印象を受けています。

○潮来部会長　低すぎますよね。

○鈴木地域づくり支援室長　それは本当、おっしゃるとおりだと思います。

○小川委員　次回以降は直近の安定した高い実績を考慮して、それにふさわしい目標値を設定していただきたいと思います。

施設利用料を有料化したその影響も大分緩和されてきたと思うので、こういう公の施設では受益者負担が第一にあるというところは見えてきているためできると思います。

○森山委員　私、思うのですが、事業者としては実績が下がるということを嫌うのではないのでしょうか。

○鶴見委員　それは常にあると思います。達成できなかったというのは、それはやっばりまずいですから。ただ、それにしても目標値の設定が低い。低すぎると思います。

○小川委員　確認したいのですが、評価シートの3ページ、アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応のところ、ピアノの件なのですが、鎌取コミュニティセンターから移しているのですよね。

○事務局職員　そうです。

○小川委員　もう少し経緯を説明していただきたい。

○事務局職員　経緯としては、鎌取コミュニティセンターで新たにピアノが欲しいという要望がありました。

○小川委員　土気あすみが丘プラザの方から。

○事務局職員　土気あすみが丘プラザではなく、鎌取コミュニティセンターからピアノが欲しいという話です。

○小川委員　鎌取コミュニティセンターが入れ替えしたいと。

○事務局職員　鎌取コミュニティセンターにピアノを寄附したいという方が現れたので、鎌取コミュニティセンターにアップライトのピアノを寄附していただきました。同時期にあすみが丘プラザから、音楽室のピアノの調子が悪いのでピアノを探しているとの相談を受け、鎌取コミュニティセンターで使用していたピアノを土気あすみが丘プラザに移動しました。

○小川委員　確認したかったのは、鎌取コミュニティセンターに支障がなかったのかと

ということです。

○事務局職員 支障はありません。

○小川委員 分かりました。ありがとうございました。

今、指定管理者に対する評価は今の質問等でさせていただいたのですが、今度は市による評価についてコメントしたいのですけど。前々から私が言っていることなのですから、6区の地域振興課で横の連携を持ったほうが良いと思います。というのも、例えば、評価シートの4ページのサービスの向上のところ、ロビーでの新聞提供というのがありますね。2紙提供していると。利用者からの要望だと。しかし、違う部会では、3紙提供していても2点です。どう説明しますかと思うわけです。

だから、この評価シートの作り方が、まず、提案書があって、そのとおりにやっているかどうかを見るわけですよ。だけれども、私たちは横に並べて見ているわけです。

その時に、方や3紙で2点と、方や2紙でも、住民から要望があって、それで3点なので、説明がつかないわけです。

○事務局職員 そうですね。

○小川委員 だから、市のモニタリング能力というのが、区によって違うと思います。同じ地域振興課でコミュニティセンターを扱っているのであれば、共通するところは意見交換してもいいと思います。

○事務局職員 はい。実際には市民総務課からモニタリングシートはこのように作成してくださいと指示がございます。

○小川委員 それは市としての方針はそうなんだけど、個々の職員の能力の問題です。

○潮来部会長 視点がありますよね。全体的に同じレベルにしていくのか、それとも去年と比べて改善されたから点数を上げるのかとか。

○小川委員 この書き方だと、3紙提供しているのに2点というのは何だこれはとなる訳です。2紙で3点とれるのに。

○鈴木地域づくり支援室長 小川委員のおっしゃるとおり、3紙あって評価2、確かにもともと3紙とっているところは評価2になってしまうと思います。

○小川委員 そうですね。

○鈴木地域づくり支援室長 私どももそういうアンテナを伸ばして、小川委員がおっしゃるように、すり合わせや評価の基準について、統一的に評価しなければいけないということを改めて感じております。そこは、今後6区で情報共有する取組みを進めてまいりたいと思います。

○小川委員 ここ2・3年、親会で年一回、評価について意見交換する会議を開催していないので。市民総務課の考えとしては、コストの問題だとか日程調整の問題だとか大きいと思うのだけど。親会は実は常任委員の方の意見調整をやるだけではなく、6区のそれぞれの担当者でもやってほしいわけです。そうしないとこういう問題が起きるわけで。何か見ているすごくみっともないことをやっているなと思います。

○事務局職員 おっしゃるとおりです。

○小川委員 やはりこういう制度は改善していかなければいけないところは多々ありまして、そうすると、関係者の間で意見交換しつつ、外部の我々委員の方がコメントすべきだと思います。

あと、管理運営の実績のところの主な事業のところ、自主事業、指定管理事業とあるけれども、ここに反映されていない特色ある取組みがありますよね。他施設と連携して協働してやっているもので、特色があれば、そういう取組みも評価の対象に入れても良いと思います。

○事務局職員 はい。これからは、施設が増えるということではなく、どんどん集約化されていくので、その中でコミュニティセンターは、重点施設として残っていく施設であると考えております。

土気あすみが丘プラザについては、比較的學校と連携しております。學校の入学式、卒業式などに出席し、地域との連携に重点を置いて活動しております。

○小川委員 だから、結構良いことをやっているんですよ。こちらから見ても、なるほどなと思うような話が幾つもある、区の地域振興課の説明を聞きながら思うのだけれど、その辺が反映されていないというか、見えないですよ、この書き方だと。そこは改善の余地があるのではないかと思います。

先程の話の繰り返しになるかもしれませんが、評価シートの作り方が、こういう事業があって、こういうことが評価できるというようなどころでとどまるのではなく、良い取組みをしているところについては、何かまちの価値が上がっていくという話が見えてきているところがあります。だから、そういうところを評価シートに反映させるような文案づくりをやってほしいのです。

○潮来部会長 そのとおりです。

○小川委員 インプットがあってアウトプットが分かったと。そこからアウトカムがどんどん出始めてきているという状況にあるのだらね。先行的な良いモデルになるのであれば、他の地区を牽引する意味でもね。

○潮来部会長 そうですね。全くその言葉とおりです。

非常にいろんな貴重なご意見が出たと思いますが、まとめるのが大変ですね。

○小川委員 利用状況が微増で確実に成果が出ていると。

○鶴見委員 成果は出ていますね。

○小川委員 自主事業についても随時、事業の見直しを行ったり、入れ替えながら、住民ニーズに答えているというところが評価できると。

○潮来部会長 あともう一つぐらい何かないですか。

○小川委員 日々の施設の維持管理業務でも、改善に取り組んで、利用者のニーズに応えるように努力しているというところも評価できます。だから、指定管理事業と自主事業と利用状況のこの3点で評価できるような話を随分と聞かせていただけたと思います。

○潮来部会長 そうですね。逆に、改善を要する点は何かありますか。

○小川委員 今後の計画づくりですね。これから始まる5年間に向けて、これまでの実績を反映させた目標値の設定を。

○潮来部会長 そうですね。もっと、実績を踏まえた目標値を設定してもらいたい。

○小川委員 一言で言えば自己評価が甘いですけどね。それは少し言い過ぎだと思うので。

○潮来部会長 そこが一つ、改善点ですね。

○小川委員 それぐらいですかね。際立つところは。

○潮来部会長　　なかなか実際にやっているところは、そんなに問題あるところがあまりないので。よくやっつけていらっしやると思うので。

それでは、評価項目が3点、改善点が1点ということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長　　今のご意見を反映して部会報告書を作成いたします。

それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市土気あすみが丘プラザの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細については、事務局と調整するということでご承認いただければと思います。改めてよろしいですか。

(異議なし)

○潮来部会長　　はい。ありがとうございました。

以上で平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての審議は終了します。

最後に、議題3のその他について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局職員　　それでは、今後の予定についてご説明させていただきます。

本日、委員の皆様よりいただきましたご意見等につきましては、潮来部会長さんから選定評価委員会の横山会長さんにご報告をいただき、その後、横山会長さんから市長あてに、委員会の意見として答申をしていただきます。

この委員会の答申を受けまして、市は、委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬までに、市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同市ホームページにて公表することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員の皆様にはご報告させていただきます。

なお、本日の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、どうぞご協力よろしくをお願いいたします。

○潮来部会長　　ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はございますか。

(なし)

○潮来部会長　　よろしいでしょうか。

では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了しました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

○事務局職員　　慎重なご審議、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑区役所部会を閉会いたします。

委員の皆様、本日は、お忙しい中、どうもありがとうございました。